

野洲クリーンセンター土壌中ダイオキシン類調査指標確認調査の追加調査結果について

調査指標確認調査の追加調査結果 (裏面参照)

「野洲クリーンセンター解体工事調査計画設計業務」の事前調査において、調査地点のうち 1 地点が土壌中ダイオキシン類の調査指標値 (250pg-TEQ/g) を上回ったことから、9 月に調査指標確認調査として 1 2 地点を実施し、センター付近における土壌の安全性は確認できましたが、センター直近の周囲法面において比較的高い濃度で分布していることが分かりました。

11 月 9 日に開催しました第三者委員会 (第 2 回大篠原地域環境保全対策委員会) において、230pg-TEQ/g (地点④) 検出地点の以西方向について、影響の範囲を確認すべきとの見解により、土壌中ダイオキシン類調査指標確認調査の追加調査を実施し、濃度によっては対策を取るよう指導されました。

このことから、12 月に調査指標確認調査の追加調査として以西 5 地点について土壌中ダイオキシン類を調査しました。

調査結果については、環境基準値 (1,000pg-TEQ/g) と比較すると数十分の一であり、また、土壌調査指標値 (250pg-TEQ/g) も下回っており、センター直近の周囲法面に比べ、比較的低い濃度でした。

今後の対応の確認

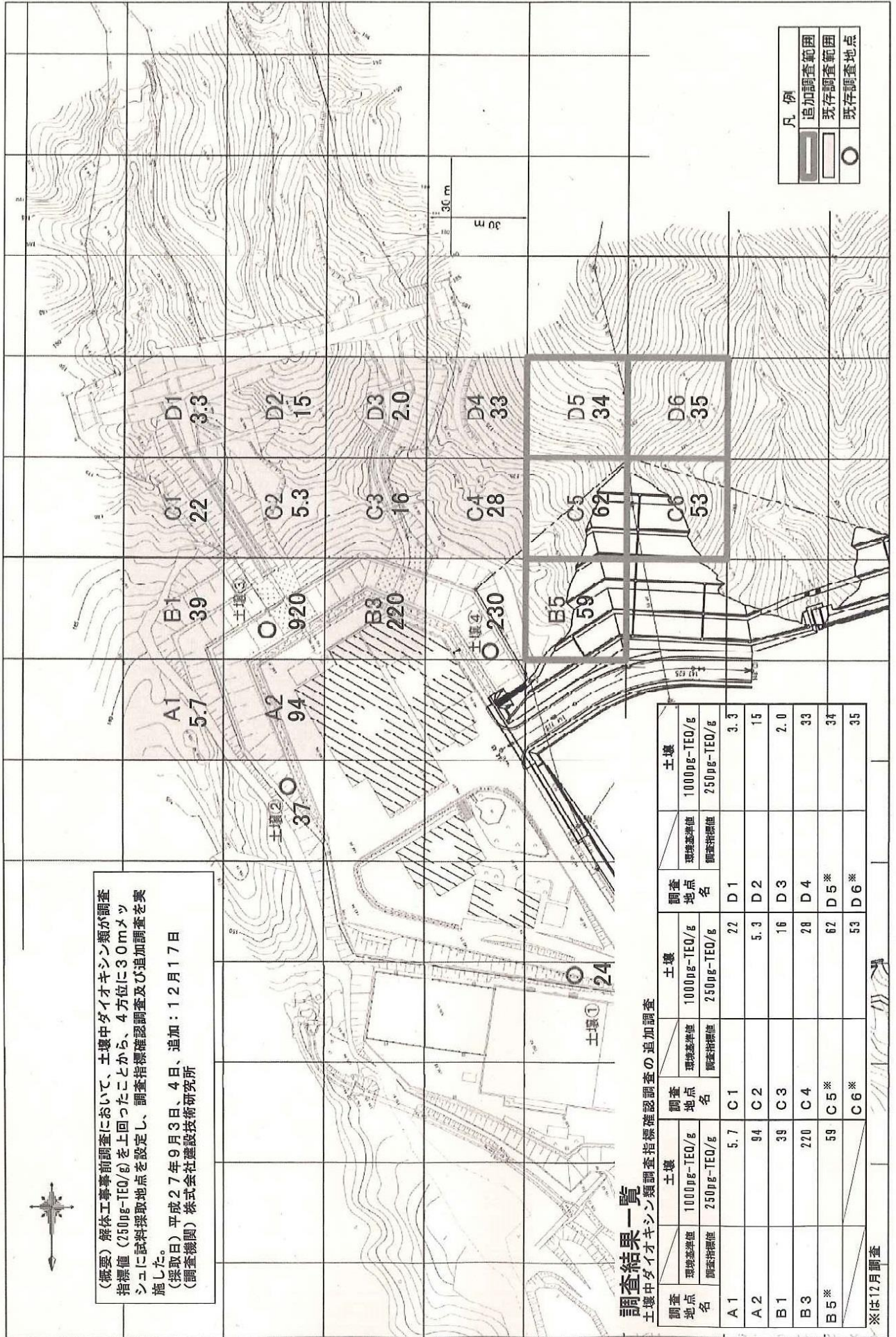
2 月 10 日開催の第三者委員会 (第 3 回大篠原地域環境保全対策委員会) において、今回の追加調査結果について確認いただき、今後の対応については、前回 11 月 9 日の第三者委員会で指導がありました恒久対策 (センター直近の周囲法面部分の土壌を掘削除去し、除去後に対策効果の確認を行う) について再確認いただきました。

今後、センターの解体工事に併せて、センター直近の周囲法面部分の土壌の掘削及び対策効果の確認調査等を計画します。また、解体工事後に行う約 20 地点の継続モニタリング調査以降の調査実施については、継続モニタリング調査結果により、本第三者委員会で判断することとなりました。

土壤中ダイオキシン類調査指標確認調査の追加調査結果

ダイオキシン類(土壤)追加調査位置図

単位: pg-TEQ/g



(概要) 解体工事事前調査において、土壤中ダイオキシン類が調査指標値(250pg-TEQ/g)を上回ったことから、4方位に30mメッシュに試料採取地点を設定し、調査指標確認調査及び追加調査を実施した。
(採取日) 平成27年9月3日、4日、追加: 12月17日
(調査機関) 株式会社建設技術研究所

調査結果一覧

土壤中ダイオキシン類調査指標確認調査の追加調査

調査地点名	土壤		調査地点名	土壤		調査地点名	土壤	
	1000pg-TEQ/g	250pg-TEQ/g		1000pg-TEQ/g	250pg-TEQ/g		1000pg-TEQ/g	250pg-TEQ/g
A1	5.7	37	C1	22	3.3	D1	3.3	3.3
A2	94	94	C2	5.3	15	D2	15	15
B1	39	920	C3	16	2.0	D3	2.0	2.0
B3	220	220	C4	28	33	D4	33	33
B5*	59	230	C5	62	34	D5*	34	34
			C6	53	35	D6*	35	35

※は12月調査